

波音

なみおと



清水海岸だより

第12号



第12号の内容

- 特集：『清水海岸高潮対策事業の変更計画概要(平成22年度)』
- 清水海岸事業ファイル⑩

PHOTO：窪田 敏

三保の自然を題材にした絵画シリーズ(10)

歌川国芳

『東海道五拾三駅・ 五宿名所 由井～鞠子』

天保前期(1830年頃)

安倍川を眼下に見下ろした高台から二人の旅人が、江尻・府中などの東海道の宿場を眺める。三保松原・久能山のほか、遠くには富士山も見える。

静岡県立美術館収蔵品



特集

清水海岸高潮対策事業の変更計画概要 (平成22年度)

清水海岸の侵食対策として、ヘッドランドと養浜の組み合わせにより、背後地の被害を防止する最低限の砂浜を確保することを目的として、平成元年度から高潮対策事業に着手し、平成17年度末で海岸保全施設の整備が完了を迎え、概ねの越波防護効果を得ています。しかしながら、局所的に残る越波被害の恐れのある箇所への対応や養浜捕捉効果の向上による安定汀線の保全などの課題があることから、平成18年度に変更を行いました。

その後、変更計画に基づき、事業を進めてまいりましたが、局所的に起こる浜幅の減少や砂浜回復の純化などの課題が生じております。このような状況から、清水海岸の現状と課題を明らかにし、今後の侵食対策について検討を行うため、平成18年度に引き続き、平成22年度清水海岸侵食対策検討委員会を開催し、今後の対策工法等の検討を行い高潮対策事業の変更計画を策定しました。

現行計画



今回の変更のポイント

- 三保飛行場からのサンドリサイクル養浜年間2万m³を3万m³に変更。
- 安倍川からのサンドバイパス養浜年間5万m³を8万m³に変更。
- 駒越西の浜幅が狭い区間に消波堤(消波ブロック)1箇所を設置する。
- その他浜幅が狭い三保地区2箇所と折戸地区1箇所、駒越南町地区1箇所、合計4箇所に根固工(背の低い消波ブロック)を設置する。
- 増～蛇塚間の養浜は離岸堤と消波工の間に投入する。

変更(案)



	消波堤区間(三保)	ヘッドランド区間(駒越・折戸)	離岸堤区間(増・蛇塚)
現行計画	■サンドリサイクル導入(試験施工) ■開口部消波施設(一部実施)	■養浜5万m³/年(内リサイクル2万m³/年) ■根固工実施、ヘッドランド延伸(未実施)	■サンドボディ促進養浜2万m³/年
課題	顕在化する侵食進行の抑制と、未然の越波防止	三保の松原の景観を考慮して浜幅の維持と浜幅些少区間の越波防護	砂浜回復の進行促進
変更(案)の考え方	■サンドリサイクル養浜3万m³/年 ⇒浜幅些少区間での防護目標を確保するための局所的な対応(1・2号下手:根固工)	■養浜6万m³/年 ⇒浜幅些少区間での防護目標を確保するための局所的な対応(1号上手:消波堤、2・4号下手:根固工)	■サンドボディ促進養浜2万m³/年 ⇒養浜投入方法を改善

※養浜のみで防護水準の達成が困難な浜幅些少区間については、歩留まりの高い盛土養浜、根固工による局所的な対応により、護岸被災および越波の防止を図る。

※本変更案の事業期間は、ヘッドランド区間にサンドボディが到達するH23年～H32年とする。(到達後は見直しを図る)

清水海岸侵食対策検討委員会

清水海岸の現状と課題を明らかにし、今後の侵食対策について検討を行うため、学識経験者、地域住民、関係団体及び行政からなる平成 22 年度清水海岸侵食対策検討委員会を以下のとおり開催しました。

第 1 回

開催日時：平成 22 年 11 月 2 日 (火) 13:30 ~ 16:00

開催場所：三保生涯学習交流館 3 階大集会室

- 議 事：(1) 清水海岸の現状と課題
(2) 今後の海岸保全事業の考え方
(3) 今後の進め方について

■ 議事概要(委員長の選出、課題と解決の方向性) ■

- ・ 委員長に東京大学杉本名誉教授、委員長代理に(財)土木研究センター宇多理事を選出。
- ・ 静岡海岸からの砂浜の回復が遅くなっている。原因を分析し対策を検討する必要がある。
- ・ 三保地区の消波堤区間で、侵食が顕在化しており養浜等の対策の検討が必要である。
- ・ ヘッドランド(消波堤)の延伸は、浮遊するゴミを散乱させるなど漁業利用への支障が懸念されるため、最適案を検討する必要がある。 ※午前中には現地視察を実施



第 1 回委員会現場視察

第 2 回

開催日時：平成 23 年 1 月 26 日(水) 13:30 ~ 16:00

開催場所：マリビル 5 階会議室

- 議 事：(1) サンドボティ(砂浜回復)について【蛇塚～駒越西】
(2) ヘッドランド区間の対策について【駒越西～三保】
(3) 消波堤区間の対策について【三保】

■ 議事概要(対策の検討) ■

- ・ ヘッドランド区間【駒越西～三保】の侵食対策の最適化を図るため、養浜量を追加実施するなどの防護水準の確保が必要である。
- ・ 消波堤区間【三保】の侵食進行に対して最適対策が必要であり、三保飛行場からのサンドリサイクル等を周辺への影響を見ながら実施していく。
- ・ サンドボティ(砂浜回復)【蛇塚～駒越西】の促進対策として、増・蛇塚離岸堤地区の養浜方法の改良を検討していく。



第 1 回委員会の状況

第 3 回

開催日時：平成 23 年 3 月 10 日(木) 14:00 ~ 16:30

開催場所：折戸生涯学習交流館 2 階集会室

- 議 事：(1) 侵食対策変更計画について
(2) 養浜計画以外の意見に対する整理結果について
(3) 今後の進め方について

■ 議事概要(今後の進め方) ■

- ・ 本委員会で検討した見直し案(特集ページ参照)について事業を実施していくとともに、効果・影響(モニタリング結果)について協議し対策を検証するため、当面は年 1 回の委員会開催を予定。
- ・ 越波危険箇所の早期対応、養浜の効果と改善点の把握するためにモニタリングを実施していく。
- ・ 安倍川からの土砂供給の連携を図るため、国土交通省が開催する安倍川総合土砂管理計画検討委員会との情報交換も進めて行く。
- ・ 清水海岸における海岸保全の考え方や取り組み、本委員会の検討事項が、地域住民や市民、関係行政機関に広く共有されるよう情報を発信していく。



第 2 回委員会の状況



第 3 回委員会の状況

Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO お問い合わせ、ご意見はこちらまで



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

静岡県静岡土木事務所

静岡市駿河区有明町2-20 (〒422-8031)

TEL 054-286-9156 FAX 054-286-9100

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/>

E-mail shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp

